

CONTENTS

■ 巻頭インタビュー

2 世田谷パブリックシアターの「シアターコンシェルジュ」

技術部
技術担当マネージャー
勝 康隆 様

技術部長
福田 純平 様

劇場部長
滝口 健 様

劇場部
営業広報マネージャー
宮村 恵子 様

特集 舞台・スタジオの照明

■ 施設例

- 6 TOKYO MX 半蔵門メディアセンター
- 8 高松市文化芸術ホール(サンポートホール高松)
- 10 エクサイナターナショナル 赤坂バーチャルスタジオ

■ ライティングシーン施設例

- 12 アミュプラザ長崎 新館立体駐車場 演出照明
- 14 アステール動物病院
- 16 ZUTTO DOG
- 18 鶴見東芝ビル 東芝研修センター

巻頭インタビュー

世田谷パブリックシアターの
「シアターコンシェルジュ」

世田谷パブリックシアターが導入した東芝ライテックのバーチャル劇場案内サービス Theatre Concierge(シアターコンシェルジュ)。その魅力と今後の可能性について、技術部長の福田純平様、劇場部長の滝口健様、劇場部 営業広報マネージャーの宮村恵子様、技術部 技術担当マネージャーの勝康隆様にお話を伺いました。

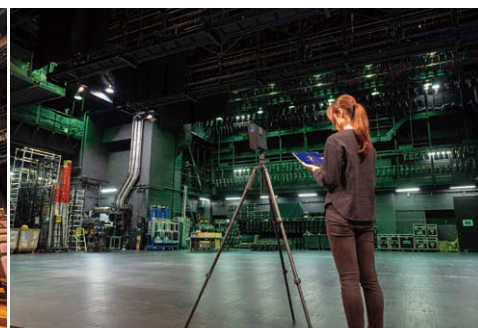
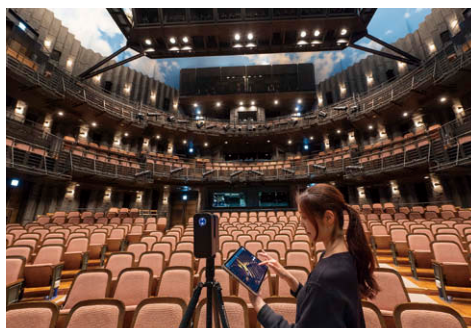


技術部
技術担当マネージャー
勝 康隆 様

技術部長
福田 純平 様

劇場部長
滝口 健 様

劇場部
営業広報マネージャー
宮村 恵子 様



データ撮影風景 さまざまなポイントで、360度のデジタル画像を撮影し同時に距離を測定。それらのデータを統合することで自在に移動可能な3Dバーチャル劇場空間を再現。

演劇と現代舞踊に特化した国内屈指の公共劇場。

—はじめに世田谷パブリックシアターの特徴についてお教えてください。

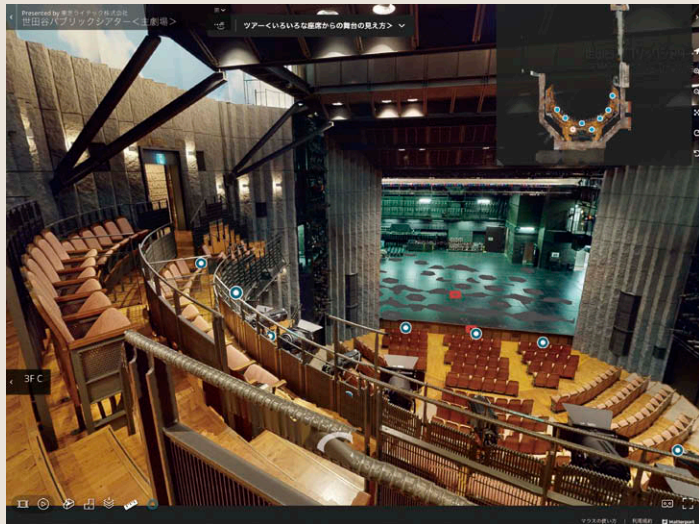
滝口 まず、世田谷区立の公共劇場であることが大きな特徴だと思います。公共劇場は2012年に制定された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」いわゆる劇場法に基づいて運営されていますが、その中心である、品質の高い作品を創り公演する「公演事業」と、演劇を活かして地域に根ざした取り組みを行う「学芸事業」において、世田谷パブリックシアターはどちらも高い水準で両立し続けています。90万人以上の人口を持ち、かつ芸術や美術への関心が高い地域特性も手伝って、区立の劇場でありながら全国に発信できるハイクオリティな作品を作り続

けていますし、区立の劇場だからこそ地元に着したワークショップやレクチャーなども多数行っています。

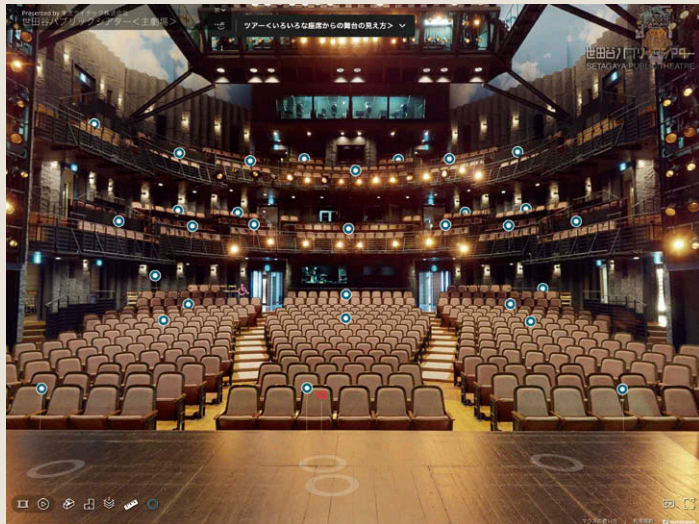
宮村 世田谷パブリックシアターが開場した1997年当時、同じ頃に新国立劇場も開場していますが、多目的ホールではなく特化した機能を持つ公共劇場としては先駆的だったといえます。

福田 世田谷パブリックシアターは現代演劇と舞踊の2つに特化している点も大きな特徴です。主劇場ではお客さまに演者の足元まで覗いていただくため、通常の舞台面をゼロとするとマイナス2,320mmまで舞台面を下ろすことができ、さらに舞台形状に合わせて客席勾配を変える事も可能です。こういった構造は珍しく、また口頭で説明もしづらいので「シアターコンシェルジュ」ではデータを2パターン作っていただき、舞

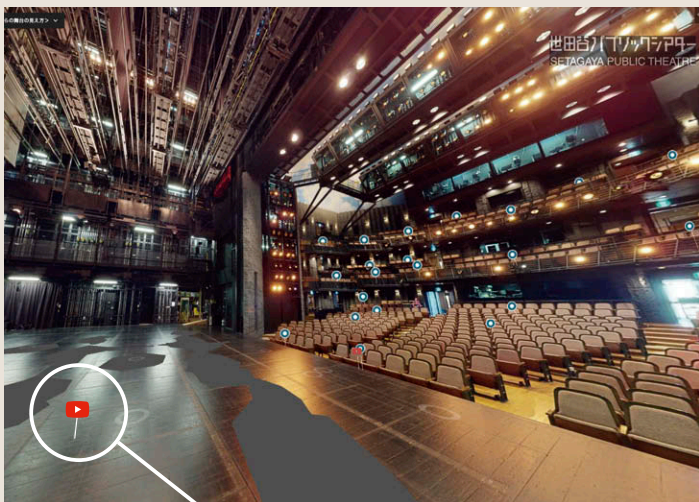
■ 世田谷パブリックシアター「シアターコンシェルジュ」画面キャプチャ



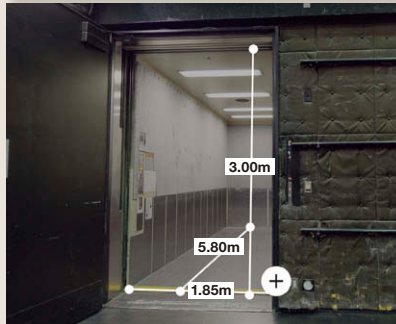
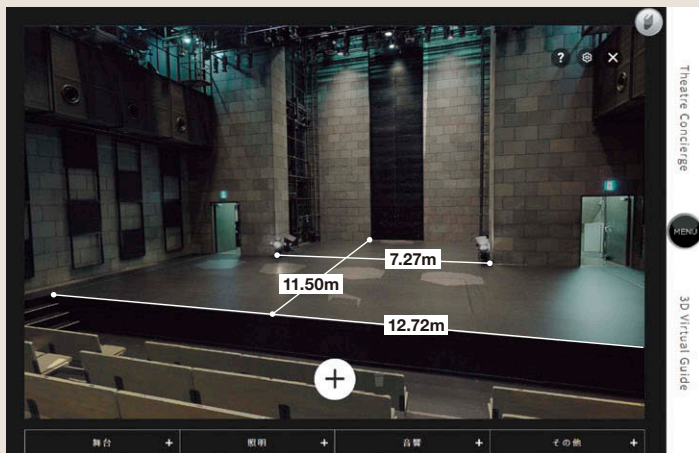
3階席からのビュー 特徴的な急勾配の客席からバーチャル空間で舞台の見え方を確認可能。



舞台上からのビュー 舞台上はもちろん、バックヤード、楽屋などもウォークスルーが可能。



タグの埋め込み
舞台上のタグにリンクが埋め込まれクリックすると舞台面を下げる転換作業の動画を再生。



採寸イメージ
(上) シアータートラムの舞台
(左) 主劇場の搬入エレベーター

台面を下ろす転換作業風景の動画もリンクしていただいています。

—たいへん人気の高い公共劇場と伺っています。稼働率についてお聞かせください。

滝口 ありがたいことに「この劇場でやりたい」と仰ってくださる方が非常に多く、稼働率は2022年度で主劇場が73.7%、シアータートラムが70.1%でした。主催公演が約25%、提携や貸し出しのケースを合わせて約50%という内訳です。残りはメンテナンスを行っていますので、ほぼいっぱい状態です。

地域に根ざし、世田谷区の文化・芸術を醸成する拠点に。

—「学芸事業」について詳しくお教えてください。

滝口 我々は今「劇場は、広場」というコンセプト

で、地域の人々が集う劇場として機能することを目指しています。世田谷パブリックシアターには、3つの稽古場や2つの作業場などもあり、演劇に関するすべてが揃っています。そこで、下は乳幼児から上は高齢の方まで、区民の皆さまにご来場いただいて演劇を通じて楽しい時間を過ごしていただくワークショップを定期的で開催しています。また、劇場外での活動もあり、世田谷区の教育委員会と協力して小・中学校に演劇ワークショップを出前で持っていき「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」を年間200回以上実施するなど、劇場外での活動も行っています。開場して27年が経ち、子どもの頃にワークショップに参加された方が親になってお子さまを連れてこられるケースもあり、続けることの大切さを感じています。

—小劇場のシアータートラムについてもお聞かせください。

福田 主劇場は基本形状で612席、シアータートラムは同じく基本形状で225席となりますが、単純にスケールが違うだけではなく、用途や見え方、性質が違う劇場になります。おもしろいことに主劇場のプロセニウムの間口は6間で10.8m幅ですが、対してシアータートラムは小劇場にもかかわらず7間で12.6mと、より間口が広がっています。

宮村 シアータートラムは客席や舞台を自由に設定することができ、四方から観客が舞台を取り囲む形式や広いフロア形式など、自由な劇場空間をつくることができます。客席と舞台をより一体化するような実験的な表現に挑戦できることも特徴です。

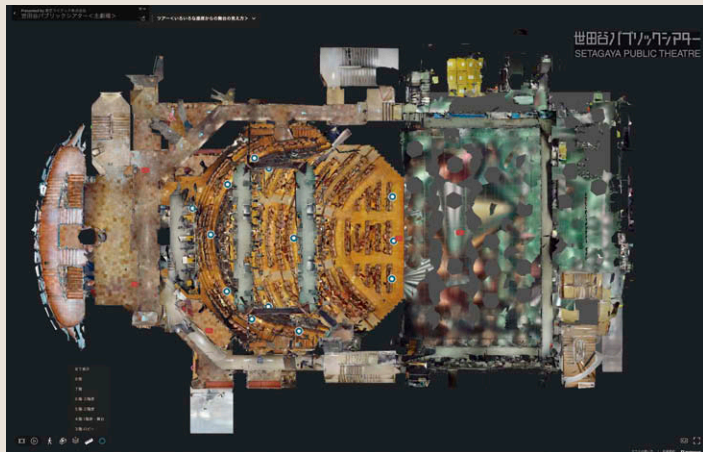
世田谷区立の世田谷パブリックシアターは1997年に開場。芸術監督、制作・学芸・技術分野における専門スタッフを持ち、質の高い作品を生み出している公共劇場です。現代演劇や舞踊を中心とした「公演事業」と、演劇ワークショップなどを通じて地域の教育・文化振興に寄与する「学芸事業」、その2つの事業を高いレベルで両立し、世田谷区の文化的、芸術的なイメージの発信拠点となっています。



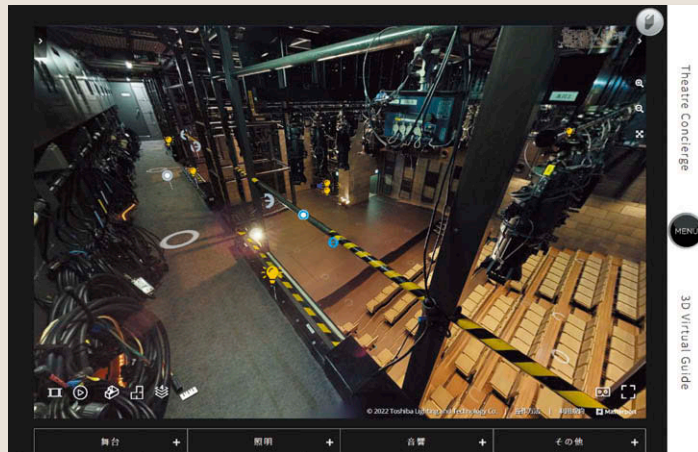
【物件概要】

所在地：東京都世田谷区太子堂4-1-1
 座席数：主劇場／612席（基本形状）
 シアターラム／225席（基本形状）
 運営：（公財）せたがや文化財団
 シアターコンシェルジュ実稼働：2023年4月

■ 世田谷パブリックシアター「シアターコンシェルジュ」画面キャプチャ



主劇場の平面図 ドールハウスやフロアごとの平面図も表示し、ワンクリックでフロアの移動が可能。



シアターラムのキャットウォーク バーチャル空間でバックヤードや楽屋、搬入口などにも移動が可能。

「シアターコンシェルジュ」の発展性と将来性に着目。

—「シアターコンシェルジュ」導入のきっかけは？

福田 Inter BEE（インタービー）という展示会で、東芝さんのブースをたまたま通りかかり、「シアターコンシェルジュ」の説明をうけて興味を持ったことがきっかけでした。同じようなサービス、つまり3Dのバーチャル空間を再現するサービスが他にもたくさんあることは知っていましたが、展示会で説明をうけたときに「マップ内で距離を測ることができる」「説明を埋め込める」など、いろいろな機能を盛り込むことができる点に新しさを感じて、2022年度にトライアルをスタートし、2023年度の4月1日から正式な運用を開始しました。

勝 トライアルで実際にバックヤードや搬入経路を見て回り、好きな場所に移動して拡大して確認できる点は便利だと感じました。さらに将来的には演劇のセットも埋め込んで、上から下からいろいろな角度から見られるようになるのではないかと、という可能性もお話いただいていたので将来性も感じています。

福田 そうですね。現時点では3Dシミュレーターソフトを使ったサービスは、まだ成長段階だと思っています。ただ、東芝さんの場合は、舞台照明の分野でも実績がありますし、他にも展開されている劇場・スタジオ向けDXソリューションをお持ちです。劇場・スタジオの3Dデータを提供する「ArtaBase（アルタベース）」や、舞台での3D照明シミュレーションができる「Vectorworks Spotlight×Vision」などもありますので、これら

を複合的に組み合わせることで、将来的にいろいろなことができると思います。

舞台芸術を創るキャンパスのようなツールとしての可能性。

—実際にお使いになられた感想は？

福田 まず、劇場を下見に行かなくてもある程度わかるということですね。

勝 実際に、新しい作品について演出家と打ち合わせをする際に、従来の資料に加えて、プラスアルファとして「シアターコンシェルジュ」を使うことで、より情報共有と理解がスムーズになりました。

福田 演出家の方などは、一度劇場に来て下見をしたとしても、後から「あそこはどうなっていたっけ？」などと考えたりされることも多いと思います。そういったときに、家でお酒を飲みながらも、パソコンで「シアターコンシェルジュ」を見ながら施設の細部を確認したり、演出のイメージを広げたり、と舞台芸術を創るキャンパスのような使い道としても有効ではないでしょうか。あとは、欲を言えば客席に座ったときのリラックス感や、空気感、リアルさについて、より現実の感覚に近づいてくれればもっと良いでしょうけれど。

勝 距離を計測できる点も便利ですね。パブリックシアター主劇場の舞台袖は、上手側のほうが下手側に比べて高さが低くなっていて、セットによっては上手側に入らない場合があります。それも伝わりやすくなりました。

福田 あとは、先ほども少し触れましたが、舞台面の高さが変わる点を伝えやすくなりましたね。「セリ」や「すっぽん」とは違って、間口約18m、奥行

き約12mの舞台面が1枚まるごと動く構造はこれまでなかなか説明しづらかったのですが、リンク動画や3D画像で非常に説明しやすくなりました。

—お客さまからの反響はありますか？

宮村 平面図の座席表を見られるお客さまが多いので、お客さまがチケットをとる前、とった後などに、その座席から舞台がどう見えるのかを「シアターコンシェルジュ」で確認されるケースもあると思います。今はまだ、具体的にお声が届いたりということはありませんが。

滝口 あとは、劇場ツアーへの活用も考えられますね。

宮村 年に4～5回実施している劇場ツアーは非常に人気が高く、毎回定員40～50名のところ250～300名近い応募がありますので。

滝口 劇場に足を運んでいただいて裏側を見ていただくツアーですが、ご希望に応えきれなかった皆さまに劇場の裏側を見ていただく、身近に感じていただくツールとして使えるのではないかと考えています。

福田 そうですね。劇場ツアーなどもただ単に見て回るだけではなく、プラスアルファとしてゲーム的な要素も加えられないかと、東芝さんとトライアンドエラーを重ねているところです。より劇場を身近に感じてもらうために、こういったDXを活用して何ができるのかということは今試しているという状況ですね。

—本日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただきありがとうございました。

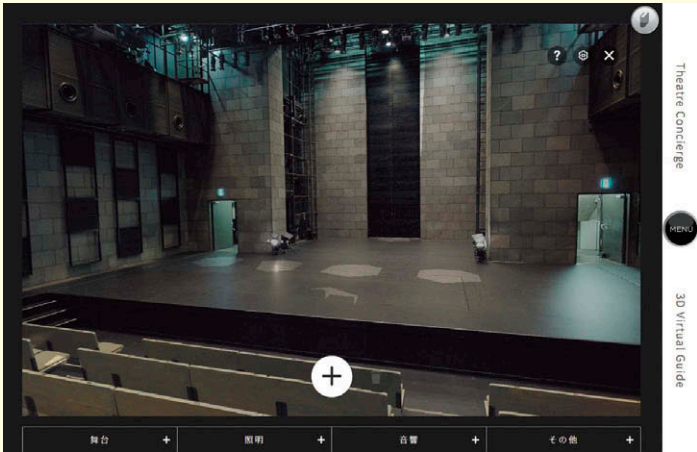
（2024年5月14日 取材）

Theatre Concierge

Virtual Theatre Information Service

バーチャル劇場案内サービス シアターコンシェルジュ

世田谷パブリックシアター様で導入された「シアターコンシェルジュ」は、リアルな3D空間で劇場内を隅々までウォークスルーできるバーチャル劇場案内サービスです。映像や音声、図面などとの連携、VRグラスによる疑似体験ツアーも可能（オプション）。劇場や舞台用語の解説など役立つコンテンツも充実し、劇場に関する総合的なDXソリューションを提供します。



※画像は調布市文化・コミュニティ振興財団のものです。

臨場感あふれる リアルな3D表示

リアルな空間のなかで視点を自由に移動できます。

劇場空間を ウォークスルー

楽屋、調整室、倉庫、搬入経路など隅々まで移動できます。

リモートでの 同時視聴会議

オンライン会議ツールで遠方の方への劇場紹介やリモートでの内見が可能。

舞台や搬入口、 通路を簡単採寸

各箇所の寸法チェック機能を装備。要所要所に設備の詳細情報を掲載。

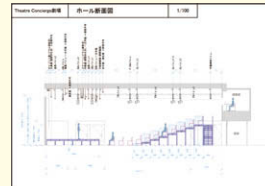
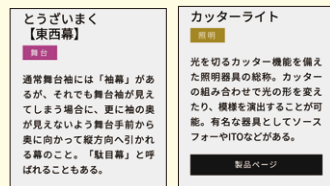
■ さらに打ち合わせや保守管理に役立つさまざまなコンテンツ

劇場便利帳 舞台・照明・音響に関する基礎知識や使い方などを、写真や図を交えてわかりやすく解説。

舞台用語辞典 劇場関連の用語辞典を備え、ウォークスルーで劇場内を見学中にも利用可能。

劇場設備PDF閲覧 平面図などの各種図面、設備や機材の一覧表などを掲載。閲覧・ダウンロードも可能。

保守点検報告書 劇場内の保守点検に関する情報(当社製品限定)や更新のためのガイドラインを閲覧可能。



「コンシェルジュ」シリーズの多彩な機能は、幅広い分野の施設案内に活用できます。

【ミュージアム】

博物館、美術館、動植物園、図書館、歴史的建造物など



※画像はイメージです。

【エキシビション】

展示会、会議場、コンベンションホールなど



※画像はイメージです。

【バンケット】

結婚式場、披露宴会場、パーティ会場、葬儀場など



※画像はイメージです。



◀お試ください

東芝ライテックのウェブサイト
「シアターコンシェルジュ」の
デモンストレーションを体験いただけます。

掲載サービス

サービス名	形名	台数	備考
バーチャル劇場案内サービス Theatre Concierge (シアターコンシェルジュ)	—	1式	—